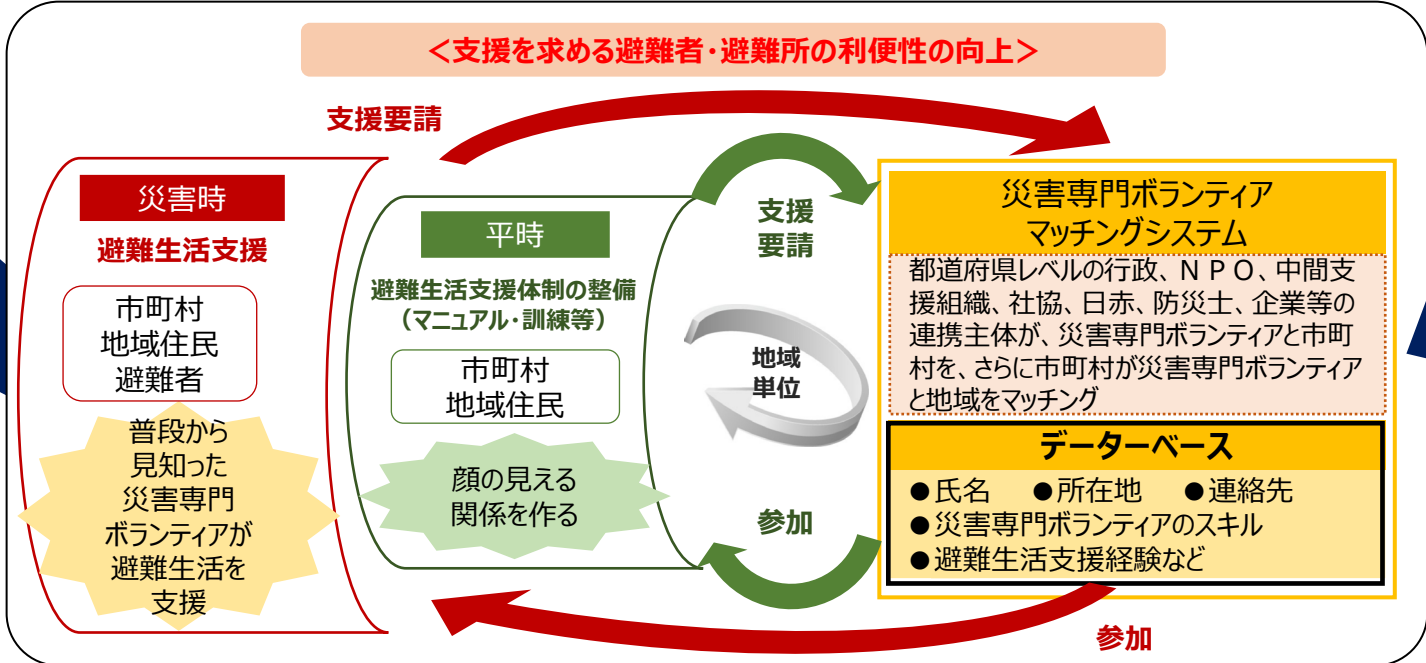
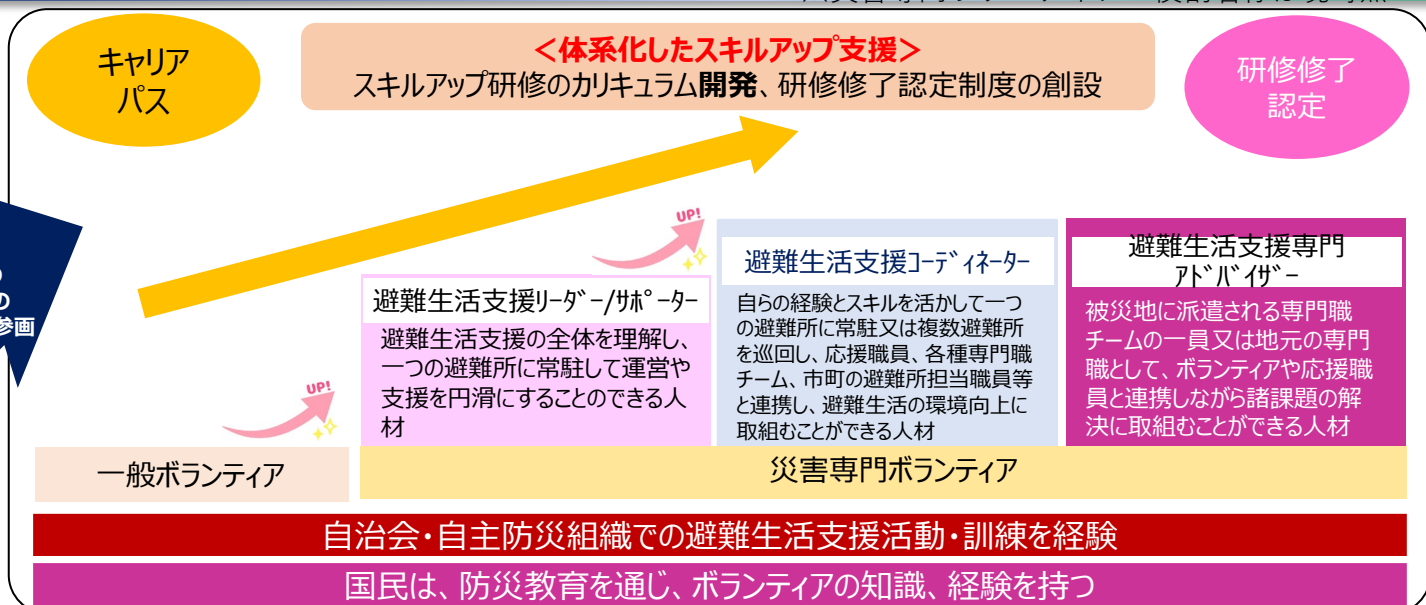




避難生活支援・防災人材育成に関する資料

避難生活支援・防災人材育成エコシステム

防災教育・周知啓発WG（災害ボランティアチーム）提言【令和3年5月】
 ※災害専門ボランティアの役割名称は現時点のものに修正



地域単位

NPO等
 団体

日赤
 ボランティア

防災士

企業

大学

自治会
 町内会

意欲のある方の自主的な参画

地域防災力の向上

認定受け

NPO等
 団体

日赤
 ボランティア

防災士

企業

大学

自治会
 町内会

地域のボランティア力の向上

認定人材の活躍

地域団体の貢献の見える化

認定人材の登録

※ 災害専門ボランティアは、地元地域での活動を基本としつつ、災害の規模や場所に応じ、近隣や遠方の市町村の避難所に赴き活動することもある。



	リーダー・サポーター	アドバイザー（仮称）	専門コーディネーター（仮称）
災害ボランティア人材のモデル	避難生活支援の全体を理解し、一つの避難所に常駐して運営や支援を円滑にすることができる人材	複数の避難所を巡回するなどにより、運営指導、避難生活支援リーダー等への助言を行うことのできる人材	避難生活上の課題を外部の専門家や支援者、行政等に適切に繋ぎ、巻き込んで問題解決を図ることのできる人材
求められる人材像	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営等について、改善点を自ら見出し、実践していける存在。 性別等の多様性の観点を考慮し、一つの避難所に複数いることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間継続的に避難生活に携わるため、安定して人材を拠出できる組織（被災地支援を行っているNPO、災害中間支援組織等）の関与が望ましい。 行政の様々な部署との調整力も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、衛生、保健など、分野ごとに専門的支援を調整できる存在。 医療保健福祉分野の専門職派遣システムなど、分野ごとの被災地派遣の仕組みの理解が必要。

能登半島地震での経験を踏まえて、役割等を見直し

	リーダー・サポーター	コーディネーター（仮称）	専門アドバイザー（仮称）
災害ボランティア人材のモデル	一つの避難所において、応援職員、住民代表等と連携し、避難生活の環境向上に率先して取り組むことができる人材	自らの経験とスキルを活かして、一つの避難所に常駐又は複数避難所を巡回し、応援職員、各種専門職チーム、市町の避難所担当職員等と連携し、避難生活の環境向上に取り組むことができる人材	被災地に派遣される専門職チームの一員又は地元の専門職として、ボランティアや応援職員と連携しながら、諸課題の解決に取り組むことができる人材
求められる人材像	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営等について、改善点を自ら見出し、実践していける存在 性別等の多様性の観点を考慮し、一つの避難所に複数いることが望ましい <p>※コーディネーター、専門アドバイザーと連携した活動を想定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に、防災・被災地支援のみならず、男女共同参画、福祉など専門的なスキルを活かした活動をしていることが望ましい 運営に関わる担い手、専門職と連携し、避難生活に必要な支援プログラムをつくることのできる人 被災地支援の経験を積みながら、自らのスキル向上に努めることが期待される 	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間継続的に避難生活に携わるため、安定して人材を拠出できる組織に所属 専門的支援を理解して、課題解決のために取り組める存在



リーダー・サポーター

- 避難所に限定せず、避難生活支援とする。人材育成等の方向性は変更なし。

アドバイザー（仮称）

コーディネーター（仮称）

- 現在のLS講師および養成研修の受講者を想定した役割。運営に関わる担い手と連携した環境改善に率先して取り組む人材とする
- 避難所にこだわらず、在宅避難者支援なども含む避難生活支援全般に関わる（状況にあわせて、1つの避難所に特化する場合もあれば、複数の避難所を巡回する場合も想定）
- 「アドバイザー」という名称は、「助言者」という印象が強いため、名称を見直してはどうか。
- リーダー/サポーターからのスパイラルアップ、内閣府会議委員からの推薦によって選出する想定。また、リーダー/サポーター研修講師を担うほかスキルアップ研修の受講を想定

専門コーディネーター（仮称）

専門アドバイザー（仮称）

- 避難生活支援の環境改善のために、医療・保健・福祉等の専門的な知見を活かした支援・助言ができる人材を想定。
- リーダー/サポーター、コーディネーターそれぞれの役割を理解して、必要に応じて連携して活動を展開することを想定。
- 専門職などを対象に、特定の研修プログラムを提供し、受講した方に名称を付与する想定。日赤救護班・DHEAT・DWAT等の登録者と、コーディネーターは平時からの情報交換等を通じて相互理解の醸成が図れることが望ましい

